

5-3 検討結果

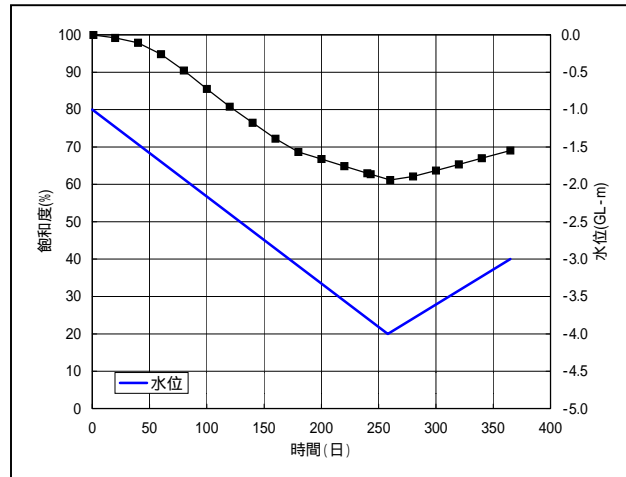
1994年の渇水年における地下水位低下量の解析結果をもとに、地下水位の低下状況をモデル化して水分量の経時的な変化を検討した。

水分量の変化は、地下水位の低下期間が異なる深度別に整理するものとし、ここでは、第1帯水層に相当する地層を想定して検討した。

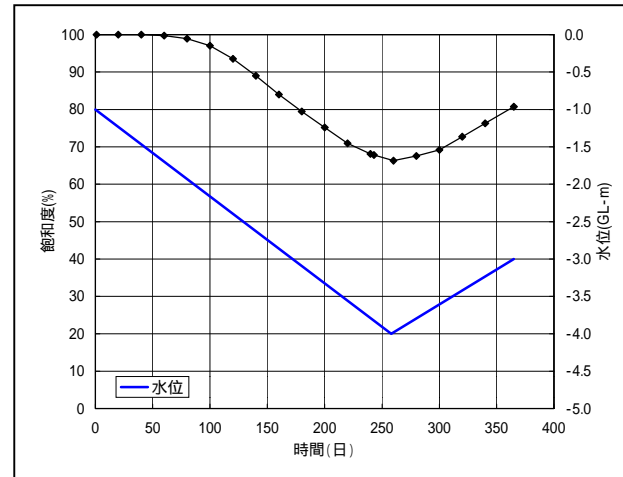
図5-5に現地採取砂質土の、図5-6に現地採取粘性土1及び2の検討結果を示した。

地下水位がGL - 1.0m ~ GL - 4.0mまで下がる場合を設定し、水分量の変化はGL - 1.0m ~ GL - 3.0mまで1mきざみで示している。

GL - 1.00m



GL - 2.00m



GL - 3.00m

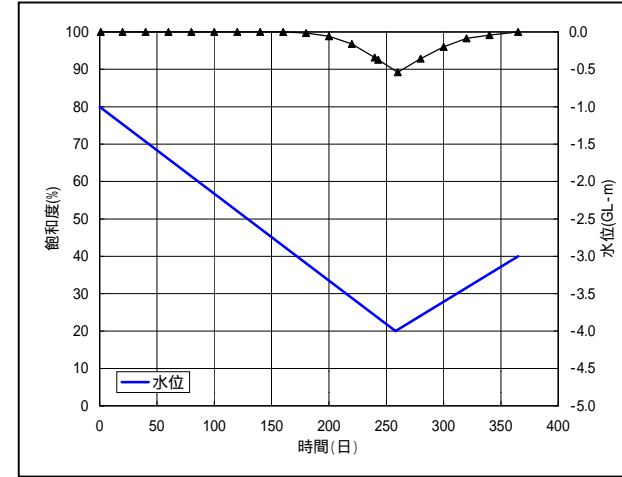
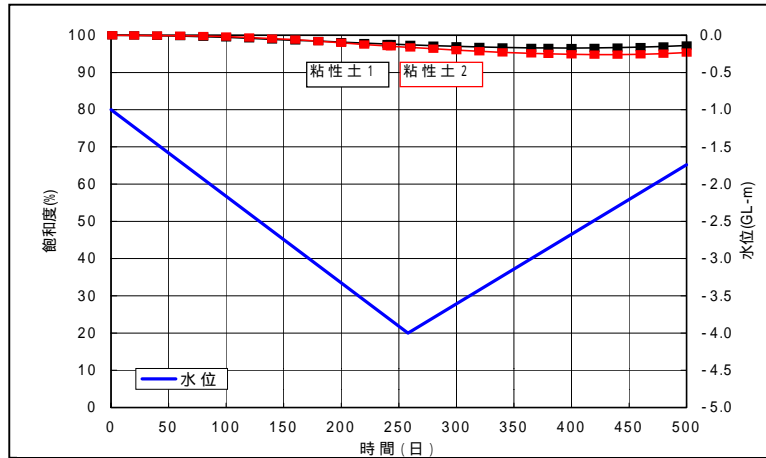
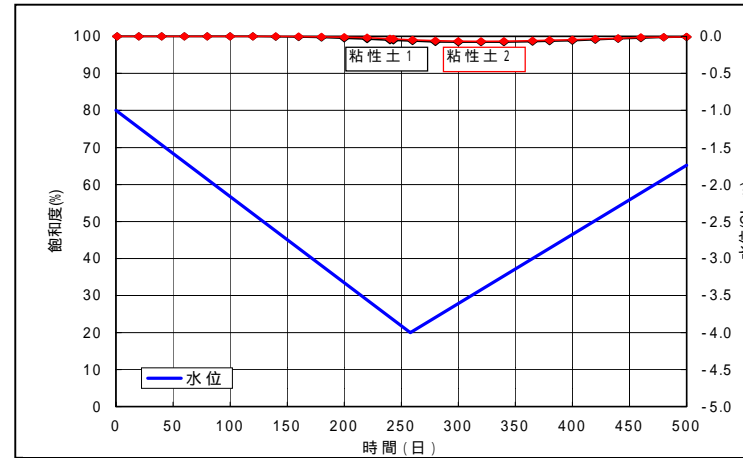


図5-5 現地採取砂質土 (N02 地点) の飽和度変化

GL - 1.00m



GL - 2.00m



GL - 3.00m

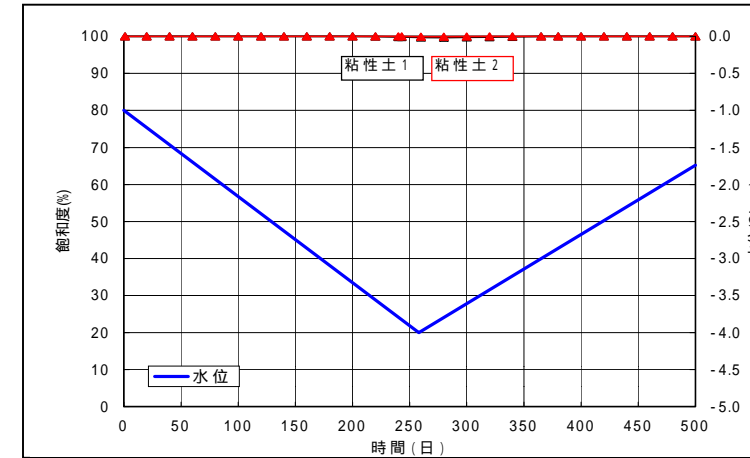


図5-6 現地採取粘性土 (N011-10 地点) の飽和度変化